



環境報告書 2010

天野エンザイム株式会社

2010.12 発行

本報告書はリサイクル PPC 用紙を使用しています。

1. 環境方針

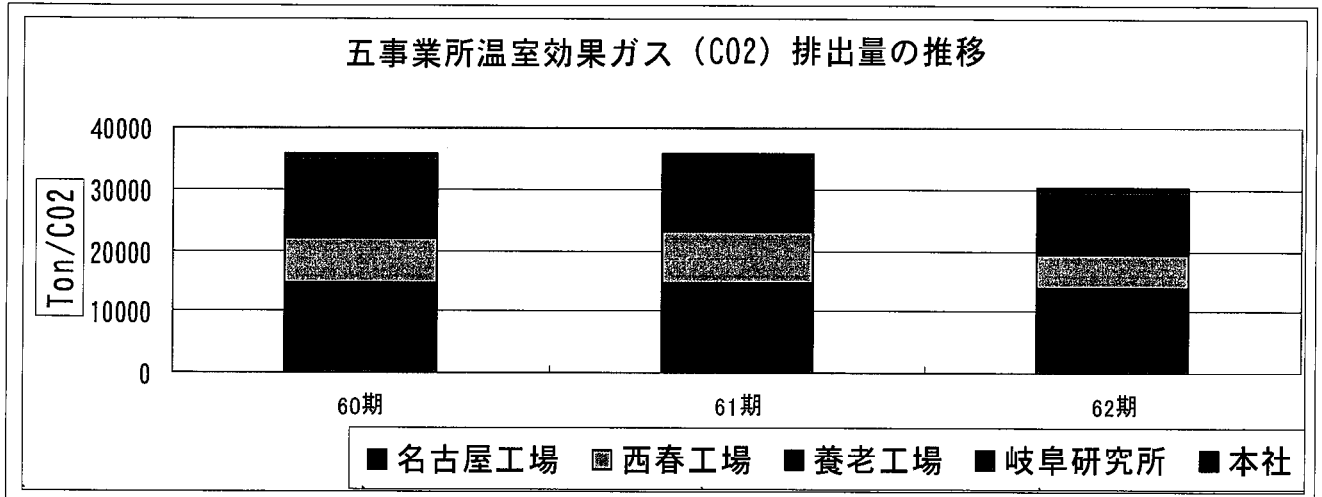
1. 私たちは、環境に関する法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 私たちは、酵素の設計・開発、製造及び販売活動において、業務の効率化を図り、省エネルギー、廃棄物の削減及び再資源化、排水水質の改善に努めます。
3. 私たちは、環境方針達成のため環境目的・目標を設定し、環境保全活動を計画的に実施し内容を定期的にレビューするとともに、環境管理システムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
4. 私たちは、環境への意識高揚のため、全従業員及び関連する人々に環境方針を周知します。
5. 私たちは、地域社会との協調、融和に努めコミュニケーションを図り、この環境方針を一般の人々が入手可能とします。

2010年4月1日

天野エンザイム株式会社 天野 源之

II. 2009 年度 事業所内外の活動について

2009 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 第 62 期(2009 年度)環境目的・目標を策定し、環境活動を開始した。 ・五事業所 2008 年度法規制順守評価を実施、法令違反はなかった。
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 環境影響評価、環境影響登録簿の見直し及び改訂を実施した。 ・岐阜研究所 岐阜県環境配慮事業所(E工場)更新登録。(10/19 登録有効期間満了) ・北名古屋市「ごみゼロ運動」の代替工場周辺美化運動に 115 名参加した。
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 第 61 期(2008 年度)EMS 活動報告を EMS 委員会で報告した。 ・平成 20 年度 産業廃棄物処理報告書・計画書、特別管理産業廃棄物実績報告書、県外産業廃棄物搬入状況報告書等を官庁へ提出した。
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・内部環境監査を実施した。【第 61 期指摘事項是正の継続性、運用手順逸脱予想結果の環境影響を中心に監査を行った。】 ・地域環境活動の一環として夏季各務原市民清掃に参加した。(13 名参加) ・PCB 廃棄物(コゲ)：名古屋工場 6 台、西春工場 3 台)を収集運搬・処分した。 ・古紙(コピー用紙、雑古紙類)のリサイクル回収(第 17 回)を実施した。 ・夏季の省エネルギー対策として、各事業所「職場、家庭での省エネルギー活動の推進」を呼び掛けた。
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・環境情報伝達手順書の見直し・改訂を行った。 ・事故、緊急事態対応模擬訓練を実施し、手順書の有効性を確認した。 ・名古屋工場、西春工場 平成 21 年度 大気汚染物質負荷量実態調査票を官庁へ提出した。
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・四事業所 毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。 ・環境報告書 2009 作成、公開した。
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 2009 年度上半期環境マネジメントプログラム実績報告書を作成した。 ・五事業所 2009 年度上半期 法規制順守評価を実施、法令違反はなかった。
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 (JIS Q14001:2004) 第 3 回更新審査後第 1 回維持審査を受審した。〔日本化学キ-エ(株)〕 審査結果及びアドバイス内容について、五事業所で水平展開した。
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 維持審査の結果、12/21 J C Q A 登録委員会で適合した。 ・冬季の省エネルギー対策として、各事業所「職場、家庭での省エネルギー活動の推進」を呼び掛けた。
2010 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・天野エンザイム株式会社 第 63 期(2010 年度)環境目的・目標を策定した。 ・名古屋工場、西春工場 あいち資源循環情報システム等に関するアンケート調査を官庁へ提出した。
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 第 63 期(2010 年度)環境目的・目標、実施計画(EMP)を策定した。
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・四事業所 毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。 ・四事業所 第 1 種指定化学物質の使用量調査と管理点検を実施した。 ・古紙(コピー用紙、雑古紙類)のリサイクル回収(第 18 回)を実施した。 ・廃棄物処理場へ処理状況の立入り調査を実施した。
<p>その他 五事業所の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境美化活動として工場、岐阜研究所、本社周辺道路、側溝の美化活動を実施した。(1 回/月) ・工場内の環境パトロール、臭気パトロールを実施した。 ・地域利害関係者との外部コミュニケーション：①養老工場の地元(山村、二又)への説明会開催(養老工場)②産業廃棄物排出計画の事前連絡の実施、③工事等(臭気、騒音発生)の事前連絡の実施 ・各務小学校の資源回収に古新聞、不要書籍などの紙資源の寄付に協力した。(岐阜研究所) ・牧田保育園のダンボール回収に協力した。(養老工場) 	



Ⅲ. 温室効果ガス (CO₂) 排出量

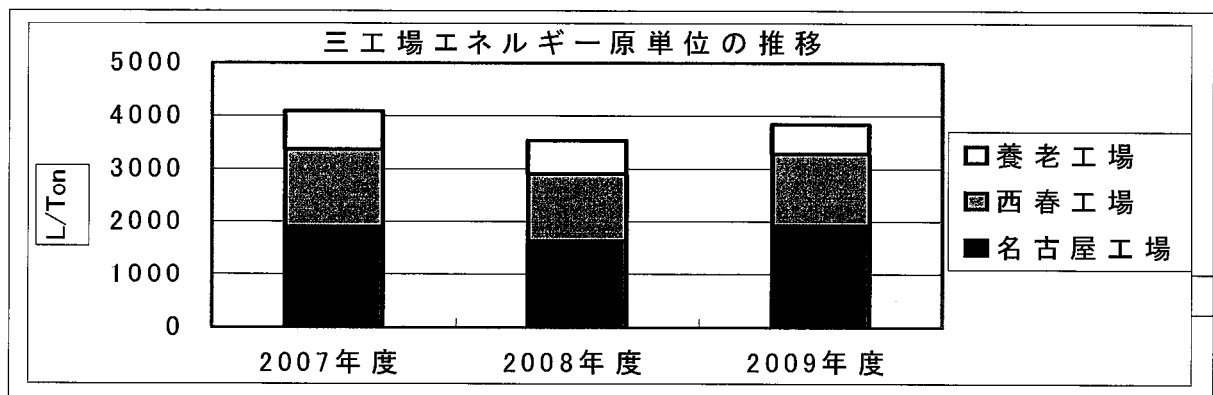
(Ton/CO₂)

	60期 (2007年度)	61期 (2008年度)	62期 (2009年度)
名古屋工場	14,670	14,775	13,978
西春工場	7,407	8,226	5,375
養老工場	12,396	11,723	9,713
岐阜研究所	981	968	938
本社	159	140	144
合計	35,613	35,832	30,148

※ 温室効果ガス (CO₂) 排出係数 (計算式)

・ 電気 1 kWh × 0.555 kg CO₂/ kWh ・ ガス 1 m³ × 2.333 kg CO₂/m³ ・ A重油 1 L × 2.710 kg CO₂/L
(13A)

Ⅳ. エネルギー原単位について

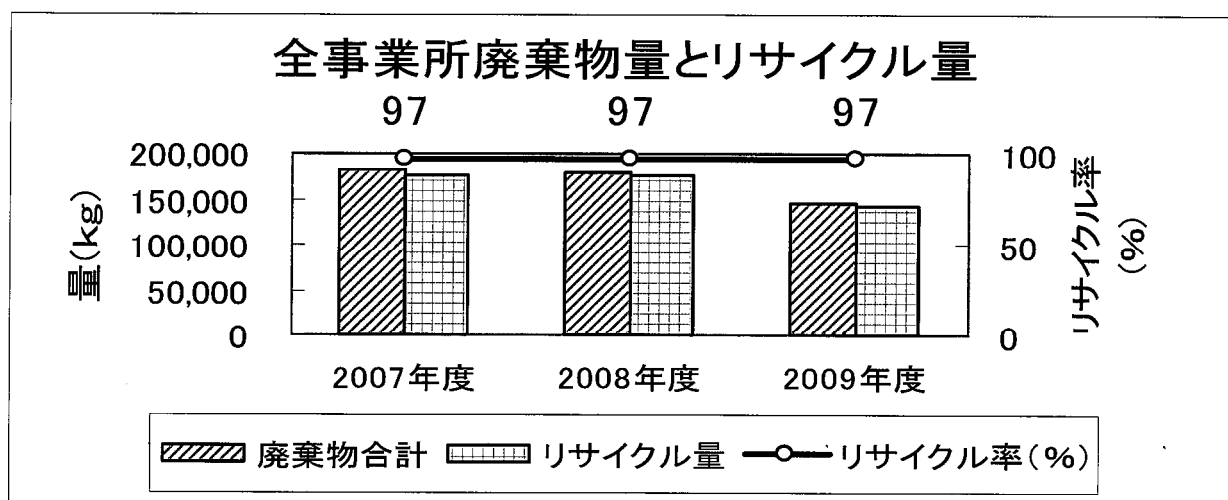


		2007年	2008年	2009年
三工場 合算	電気	483	411	463
	ガス・重油	705	628	559
	計	1,188	1,039	1,022
	2007年度対比	100%	87%	86%

(単位: L/t)

* 天野エンザイムの原単位とは
原単位 = 電気又はガス・重油の原油換算量 (L) / 仕込量 (ト)

V. 廃棄物量とリサイクル状況



全事業所廃棄物量の推移

(単位: kg)

	2007年度			2008年度			2009年度		
	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率
全事業所 (合計)	180,815	176,138	97	178,979	174,498	97	145,641	141,386	97
2007年度比	100%	100%		99%	99%		81%	80%	

VI. 事業所の排水について

2009年度三工場（名古屋工場、西春工場、養老工場）の排水結果

	排出量	単位
放流水	1,050.1	千m ³ /年
特定排出水	712.1	千m ³ /年
特排 COD 負荷量	15.9	t/年
特排 T-N 負荷量	7.1	t/年
特排 T-P 負荷量	1.6	t/年

1. 放流水とは、特定排出水に間接冷却水を加えて、工場より公共用水域（河川等）に排出される水
2. 特定排出水とは、廃水処理場にて処理した水
3. 特排 COD 負荷量とは、公共用水域に排出された COD 量
4. 特排 T-N 負荷量とは、公共用水域に排出された窒素量
5. 特排 T-P 負荷量とは、公共用水域に排出されたりん量

VII. 環境会計について

環境経営を推進するにあたって、過去3年間全事業所の環境施策に係る投資費用及び環境保全費は下記の通りです。

(2003年度より、環境会計を導入しました。)

2007年度～2009年度 環境会計 報告書				
環境大分類名	環境小分類名	2007年度 税抜金額(千円)	2008年度 税抜金額(千円)	2009年度 税抜金額(千円)
1	公害防止	109,066	112,161	84,513
2	地球環境保全	188	64	6,612
3	資源循環	230,176	258,347	213,595
4	環境管理	60,400	66,584	42,898
5	その他	2,349	1,632	2,390
	合計	402,179	438,788	350,008